

～生命の種を蒔いて 地球を守ろう～

# 菜種

なたね  
農業委員会だより

第65号 2026年1月

編集と発行  
北栄町農業委員会  
北栄町由良宿423-1  
TEL(0858)37-3135



## 収穫に感謝!!

皆さん、明けましておめでとうございます。本年も農業を取りまく現状について、広報誌でお知らせしたいと思います。

昨年の農業はご存じのように夏の猛暑、小雨で作物栽培は本当に大変な年でした。スイカは平年並みの価格でしたが、トマト・

ブドウ・柿・梨など大きさは小振りになりましたが糖度は高く、高値で推移しました。また年明けからの米不足で米価が見直される年でもありました。

環境、土地に根付く農業は全てのものに感謝しなければなりません。この感謝を表す祭りや

行事が各地で行われています。今回はその模様を知っていただきたくて表紙にさせていただきました。

今年も豊穡を願い、土地・天候・農産物・生産者・消費者に感謝していく年としたいと思います。

(文 河本 松秀)

### 農家相談日

1月27日(火)  
2月24日(火)  
3月24日(火)

【時間】  
13時30分～15時  
【場所】  
北栄町役場  
大栄庁舎2階

月	申請書(議案) メ切日
1月分	(受付終了)
2月分	1月26日(月)
3月分	2月25日(水)
4月分	3月25日(水)

### 電子申請をご活用ください

農業委員会への申請・届出(一部)等が、インターネット上で行えます。

農地を  
相続した


農地を  
貸したい  
売りたい

農地を  
借りたい  
買いたい

農地法関係  
申請書案(等)  
(売買、転用)

「菜種」への  
投稿

その他  
ご相談

とっとり電子申請サービス 北栄町  でネット検索

➡「北栄町」を選択

➡希望項目を選択し、入力フォームへ

ご不明な点は農業委員会事務局までお問い合わせください。





## 家族経営協定に取り組もう

家族経営協定は、家族内の話し合い運動です。家族みんなの話し合いから、より一層魅力ある農業経営を築きませんか？

### ●家族経営協定ってどんなことを話し合うの？

経営方針や家族の役割と責任を明確化することで、みんなの意欲や能力が発揮できる環境を整え、農業の経営改革に繋がります。

- ①就業条件
  - 賃金などの配分を明らかにする
  - 労働時間や休憩時間、休日の取り決めをする
  - 安全で快適な作業環境の工夫を考える

- ③世代交代
  - 次の世代への経営移譲をどう進めるのか
  - 経営資産の移譲の時期や方法はどのようにしていくのか

- ②経営管理
  - 簿記記帳は誰が担当し、どう共有するのか
  - 家族の意見を反映した経営方針の協議はどうするのか

- ④生活面
  - 家事や育児、家計の管理をどう役割分担するか
  - 老後の生活設計や防災対策はどうしている

### ●どうやって進めるの？

- ①現状を見つめ直し、課題を把握する
- ②家族それぞれの思いを伝えあい、整理する
- ③課題を解決するための方法や目標を整理する
- ④協定書で文書化し、立会人（普及所・農業委員会）とともに締結
- ⑤自分たちの生活を見つめながら、内容を見直しグレードアップしていく

### ●作り方がわからないなあ。

農業委員会と普及所が、作成のアドバイスを行いますので、お気軽にご相談ください。

Q.

### 締結してみてどうでしたか？

結婚して家族になった嫁にとって、農家（その家）のやり方に意見を言うのは難しく今までの流れのまま生活をしていて、気持ちがもやもやしていました。

しかし、協定を締結するために仕事の分担や、特に給料や休暇などについてじっくりと話し合いをし、自分の思いがちゃんと形になったので、仕事にもやる気が出ました。協定を結ぶためにじっくり話し合った経験から、その後は何事も話し合って決めることが当たり前になったので、今は不満がありません。



杉川農業委員



## 12/16 町長に意見書提出

農業委員会は町の農業者を代表し、農業の健全な発展に寄与する立場から、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、施策の改善提案を意見として提出しました。主な内容は以下の通りです。

1. 耕作放棄地対策
2. 農地を維持する支援策
3. 多様な農業関係人口の増加策
4. 米生産低コスト化対策
5. 家族農業（小規模農家）の役割と支援対策
6. 新規就農者への経営診断や営農指導対策
7. 有害鳥獣対策と地域環境美化対策
8. 防潮松の松くい虫被害対策
9. 由良川改修にかかわる塩分遡上対策と水田灌がい用水の塩分対策

意見書全文は町HPでご覧ください▶



町長室にて





# イイね にな **担い手**

頑張る期待の担い手を紹介します。



あま〜く育ったメロン!!

## 畑に歌声が響く

平田 政さんは親元就農後、農業法人の社員となり、農業の経験を積んで12年前に新規就農されました。現在40aのハウス

で、春に小玉スイカ、秋にメロン、冬はほうれん草を栽培し個人販売されています。

妻の美貴さんは東京・大阪・韓国などで歌う活動

平田 <sup>ひら た</sup> 政さん (由良宿・44歳)  
<sup>み き</sup> 美貴さん (44歳)

されていますが、今は1歳の娘・ひすいちゃんの育児のためお休み中です。「うたう農家」として、畑で小玉スイカやメロンにパワフルな歌声を聞かせ、愛情を注いで栽培されており、とても甘くジューシーに育っています。北栄町のふるさと納税の返礼品にもなっているそうです。「農業は、天候に左右され大変なこともあります。おもしろいです。」と二人が笑顔で話されました。将来は、実家の農地も引き継いで面積を増やしていきたいと意気込みを語られました。(取材・文 吉田 美由紀)



## 9/13 就農・営農相談会

就農・営農相談会が開催され、初めに鳥取県の就農相談員より、就農にあたりそれぞれの立場に合せた農業スタイル、研修方法、資金面等の説明を聞きました。次に各生産組織からのPRがあり、その後各ブースで具体的に相談する自由な時間がありました。農業委員へは土地や空きハウスなどの相談もあり、熱のこもった相談会になりました。

就農を考えておられる方は、いつでも産業振興課、各地域の農業委員へお気軽に相談してください。

(文 田村 美智恵)



熱のこもった相談



## 10/7 法人営農状況調査の実施

北栄町農業委員会では、毎年町内の法人事業所の営農状況を調査し、必要な場合は指導を行うこととしています。

今年度は、「(株)北条ワイン醸造所」と「(株)アール企画」を訪問しました。「(株)北条ワイン醸造所」松神のブドウ栽培圃場で、現在の状況の説明を受け今後の栽培環境等の意見交換を行いました。

「(株)アール企画」六尾の圃場では、えだ豆の栽培・販売状況の説明があり、現在の状況を把握する事ができました。(文 田中 寛)



北条ワインのブドウ園にて



## 11/6・7 中国・四国ブロック 農業委員会女性委員研修会に参加して

徳島県で開催され、鳥取県からは17名が参加しました。事例発表の中で興味深かったのは「女性の農機具講習会」でした。「夫や父が農作業ができなくなると、女性は農機具(トラクター・管理機・刈払機)を使うのが苦手なので途端に困る。講習会で安全な使用方法を習い、耕作放棄地の解消に役立てている」とのこと。これは北栄町でも必要なことだと感じました。(文 杉川 一二美)



多くの女性委員が参加



## 12/3 令和7年度 農業委員会特別研修会

県下19市町村の農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局職員が集まり、エースバック未来中心大ホールで研修会が開催されました。

講演では新潟県阿賀野市農業委員会 笠原尚美氏と全国農業会議所 稲垣照哉氏が、地域計画(地域の農業を将来へ継続させていくための計画)の実現とブラッシュアップ(磨きをかけて完成度を高めること)の取り組みについて話がありました。地域計画は一度作って終わりではなく継続的に見直す大切さを強く説明され、これからの活動に生かしたいと感じました。(文 森本 壮一)



笠原尚美氏の講演

## 農産物プレゼントクイズ

(6名様)

# ストック

※この写真はイメージです。  
ストックの色は収穫時期によって異なります。

## クイズ

「イネ! 担い手」の平田さんは何農家でしょうか?

答え



(ヒントは3ページをご覧ください)

○に入るクイズの答えと住所・氏名・年齢・電話番号・「菜種」へのご意見、ご感想を書いて、郵送、応募箱、応募フォーム(右下 QR コード読み取り可能)で応募してください

応募資格: 町内在住の方で1世帯につき1通。

令和8年2月16日(月)~17日(火)

8:30~17:15までに役場 農業委員会へ取りにこれる方

・応募箱は、北栄町図書館本館・北条分室に置いています。

・当選者には電話にてご連絡します。

応募フォーム

応募期限: 令和8年1月30日(金)(当日消印有効)

郵送先: 〒689-2292 東伯郡北栄町由良宿 423-1

農業委員会事務局[農業委員会クイズ係]



前回の正解は **A. 野菜** でした



## まっつあんのひとり言④

町人口減少の歯止め  
人口戦略会議が2024年に「将来消滅する可能性のある自治体」を発表しました。北栄町は免れましたが、県内では8町村が該当しています。農業をするという事は当たり前ですが、土地と一緒に住まなければならない。近年通い農業の方もおられますが、まさか大阪・東京から毎日通って、という方はいないでしょう。せいぜい隣町から通って来られるくらいです。やはり本気で農業をするなら田畑に根づく事です。

私も以前、転勤族として中国地方を転々としてきましたが、農業をするために帰郷しました。子ども4人は全て違う市で生まれています。転入したとき、当時の役場担当者は一挙に6人の人口が増えたと言ってくれました。

つまり農業を志す方がいれば、町の人口減少の歯止めにもなり、増えていくということです。現在でも他県から家族で移り住んだり、北栄町で子どもを産み育てて農業をしている方もおられます。農業を発展させ、今後も消滅可能性自治体を回避したいものです。

(文 河本 松秀)

## 編集後記

先日、農家相談を担当させていただきました。高齢化等により耕作が困難な農地を貸す、或いは売りたいという相談が多く寄せられます。空き農地情報バンクへの登録を紹介するのですが、耕作されない農地が増えていくのは避けられない状況にあります。

## 空き農地情報バンク

空き農地情報バンクに登録されている売買・賃借したい農地の情報です。

《買いたい・借りたい方を探しています》

No	農地の所在	地目	面積(a)
1	国坂西鶴泊2203 (賃借)	畑	17
2	下神中庚申松1130-3 (賃借・売買)	畑	27
3	亀谷東谷空325-1 (賃借・売買)	畑	21
4	下種イヤ谷1203-1 (賃借・売買)	畑	26
5	由良宿久米屋開1447-3 (賃借・売買)	畑	11
6	大谷上前田3544 (賃借)	田	20

空き農地情報バンクの情報をスマホから見られます

掲載に承諾いただいた農地をインターネットに公開しています。詳細は町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

【掲載場所】

●町ホームページ

●eMAFF農地ナビ



## 受給受けありがたいと感じている今

### 受給者の声



やました まさみ  
山下 正美さん  
(妻波・66歳)

高校卒業後農業に従事し、集落内の若い農業従事者で構成している「パイオニアグループ」に入会しました。そのグループの先輩から「農業従事者は農業者年金に加入した方がよい」と教わり、加入しました。私達の頃は農業従事者は皆加入していたと思います。

現在は、いろいろな年金がありますが、農業者年金は40歳までであれば国からの助成があります。また、掛金の運用もよく、安心して掛けられると感じていました。農業者の皆様、老後を考えて農業者年金に関心を持っていたいただければと思います。

(文 山下 正美)

詳しくはお近くの農業委員または農業委員会 ☎37-3135 まで

### 菜種(64号)にいただいた声

- 青パパイヤは知ってましたが、どのように調理すれば良いの分かりませんでした。レシピを見て作ってみたいと思います。(60代・女性)
- まっつあんのひとり言③を読んで、町収入のことホントにそうですね。以前から北栄町内で消費することがほぼありませんね。(50代・女性)
- 青パパイヤの事はテレビ放送で知り、とても興味がありました。是非、食べてみたいです。(70代・男性)

多くのご意見・ご感想をお寄せいただきありがとうございます。

今月号の菜種は、皆さんの地域の豊穡を祈って執り行われる神事や、収穫祭の様子を取り上げています。「食への感謝」が農業の抱える様々な問題解決のキーワードになるのでしょうか。しかし依然として沢山の食材が廃棄されている報道も目にします。令和8年が農業にとって良い年になるように祈るばかりです。(文 阪本 知則)